

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	専任ごみ減量指導員設置事業			
■評価事業コード	030300 - 082	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	02 ごみの発生抑制		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
■関連計画の名称	環境基本計画・ごみ処理基本計画			
■事業の概要	ごみの減量とリサイクルの推進により、清掃事業所の延命を図るとともに、ごみ処理経費の負担を抑える。年々増加するごみ量に対応するため、地域説明会及び出前講座等の広報活動や、各事業所を対象としたごみ出しの指導、不法投棄防止対策など、きれいなまちづくりとごみの減量、リサイクルの推進を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	専任ごみ減量指導員設置事業	市民・事業者		不法投棄処理件数:50件 出前講座8回 アパート関係等指導:200件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費		3,724	3,791	3,914	
人件費	1,482	1,391	3,082	1,731	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,482	5,115	6,873	5,645	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	不適正排出者指導件数				200件	資源ごみステーション等において不適正排出件数
03	エコショップ参加店舗数	22店舗	24店舗	31店舗	31店舗	県エコショップ登録業者数

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

常設資源ごみステーションに資源ごみを排出する市民が多くなり、それに伴い不適正排出も多くなってきた。出前講座の開催件数は、横ばいであり今後は要請を待つのではなく、こちらから地域回り等する検討していく。

### 問題点・課題等

専任ごみ指導員が日々ごみ集積所に立ち指導を行っているが、不適正排出量が減らない。ごみの処理について現物が見えない状況で市民とのやり取りが多い。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明

ごみについては、継続的な市民への啓発指導が必要であり、日々市民へ直接指導できるごみ減量専任指導員は不可欠である。